

市議会だより



発行 伊東市議会 議長 宮崎雅薫
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通) FAX38-6916

《城星》



城星火山の溶岩



火口底の大部分が市民運動場(城星火口)

《手石海丘》

新井から見た手石島付近(奥は初島)



伊豆半島ジオパーク

～伊東エリアには15のジオサイトがあります～ 《城星・手石海丘》

手石海丘噴火の瞬間

出典:平成元年7月13日 海上保安庁撮影



手石海丘付近海底の形状

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 6月定例会の概要 【P.2】
- 一般質問(10議員が登壇) 【P.5】
- 4月臨時会の概要 【P.10】
- 常任委員会だより 【P.11】



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

南から来た
火山の贈りもの
伊豆の魅力の世界に発信



平成28年6月定例会

21件の議案等を審議、決定



6月定例会を6月15日から6月28日まで14日間の会期で開会しました。

■市議会 6 月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第1号	平成27年度伊東市一般会計予算 繰越明許費繰越し報告について	平成28年3月定例会において議決された繰越明許費のとおり、地方創生加速化交付金事業3事業や本市独自の地域経済活性化対策など、12事業、9億5,978万6,000円を平成27年度から平成28年度に繰り越したことの報告	市長	(報告・質疑のみ)
市報第2号	平成27年度伊東市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成28年3月定例会において議決された繰越明許費のとおり、2事業、7,706万5,000円を繰り越したことの報告	市長	(報告・質疑のみ)
市議第1号	伊東市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例	地方公務員災害補償法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴い、伊東市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例において、他の法令による社会保障給付を受ける場合の調整率を改正する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第2号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、主な内容として個人市民税においては自主服薬を推進するため、スイッチOTC薬の購入費用について、医療費控除の特例を導入する等のほか、法人市民税、軽自動車税、固定資産税に関する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第3号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、認定誘導事業者が取得する公共施設等に係る課税標準の特例割合に「わがまち特例」を導入するとともに、項ずれ等を整理する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第4号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	都市の低炭素化の促進に関する法律等に基づく認定制度において、新たな審査方法が追加されたこと等に伴い認定申請手数料を規定する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第5号	伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令等の施行に伴い、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所における避難用階段や保育士配置の基準などを国の基準にあわせるための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第6号	伊東市健康福祉センター条例	保健福祉センターの老朽化や社会環境の変化により多様化する市民の保健福祉ニーズに対応するため、健康づくりや高齢者福祉・介護予防、子育て支援などの機能をあわせ持つ新たな健康福祉施設について、管理方法等必要な事項を定めるための条例制定	市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	建設中の健康福祉施設内に高齢者の居場所の提供を目的とする「桜木デイサービスセンター」を設置するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第8号	伊東市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例	本年2学期から給食を開始する伊東市学校給食センターの受配校が、既存の東小学校共同調理場の受配校である東小学校及び川奈小学校を含む小中8校となるため、東小学校共同調理場に係る規定を削るとともに、新たに伊東市学校給食センターに係る規定を加える条例改正	市長	全会一致で可決
市議第9号	平成28年度伊東市一般会計補正予算（第1号）	食品ロスの削減に向けた料理レシピの開発や料理教室、シンポジウムなどを開催する消費者教育推進事業委託料、道路除草事業委託料、第70回桜祭記念事業等委託料など、2,070万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第10号	平成28年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	管きょポンプ場建設事業、管きょポンプ場改築事業の工事請負費に5,914万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第11号	伊東市功労者表彰について	三枝誠次氏（政須美元和田）	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第12号 発選第2号	伊東市功労者表彰について 静岡地方税滞納整理機構議会議員選挙	太田和男氏（湯川） 有効投票20票のうち、 松田吉嗣議員18票、水野 明議員0票、落合勝二議員2票	市長	全会一致で可決
発選第3号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	有効投票20票のうち、 影山正直議員0票、浅原和美議員18票、二橋益良議員0票、 内田隆典議員2票	—	—
発議第1号	伊東市議会議員の議員報酬等の支給の制限に関する条例	地方自治法第135条第1項第3号に基づく懲罰である一定期間の出席停止においては、議会活動が制限されているにもかかわらず議員報酬等が支給されている状況があることから、出席停止の期間に応じて報酬等の支給を制限する本市議会独自の条例制定	議員 7名	賛成多数で可決
発議第2号	伊東市議会会議規則の一部を改正する規則	地方自治法第135条第1項第3号に基づく懲罰である一定期間の出席停止において、伊東市議会会議規則に定める出席停止期間の上限日数を「3日」から「30日」に改正	議員 7名	賛成多数で可決
発議第3号	食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第4号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第5号	待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	賛成多数で可決

議員提出議案の要旨

■伊東市議会議員の議員報酬等の支給の制限に関する条例

議員報酬及び議員の期末手当に係る支給額については、伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例で定められています。

この議員報酬については、役務の対価ということが基本と考えられますが、地方自治法第一三五条第一項第三号に基づく懲罰である一定期間の出席停止においては、議員報酬の支給のあり方について規定した法律等も制定されていないことから、議会活動が制限されているにもかかわらず、報酬等が支給されている状況にあります。

このような状況を踏まえ、議会運営委員会において協議を重ねた結果、市民の負

託を受けた議員としての職責に鑑み、出席停止の期間に応じて報酬等の支給を制限するとする本市議会独自の措置を講ずる必要があるとの結論に至り、出席停止期間に応じ、議員報酬等の支給を制限する旨の条例を設けるものです。

■伊東市議会会議規則の一部を改正する規則

地方議会における懲罰は、地方自治法第一三四条第二項に「懲罰に関し必要な事項は、会議規則中にこれを定めなければならない。」と規定されており、これに基づき、伊東市議会会議規則第一六二条で、「出席停止は、三日をこえることができない。」として、上限日数を定めています。

本市議会では議会運営委員会において、出席停止の

上限日数について協議してきました。

当委員会においては、上限日数をふやした場合、出席停止の期間を決める基準がないと、懲罰特別委員会において期間を決定することが技術的に難しいとする意見等がありました。一方、事案はケースバイケースであり基準をつくることは難しいとの意見がありました。また、懲罰事案が発生することのないように抑止力として上限日数をふやすことが必要、三日間の出席停止の次に重い懲罰が除名（議員身分を失わせる処分）となると、あまりに極端であるので、ふやすことが必要である等の意見があり、本市議会としては、出席停止の上限日数について、現行の三日を三〇日に改正するものです。

本会議で 行なった討論 (概要)

■伊東市議会議員の議員報酬等の支給の制限に関する条例

■伊東市議会会議規則の一部を改正する規則

《反対》杉本一彦議員

そもそも議員報酬は、何に対する役務の対価なのか。議会活動に対するものならば、議会出席に対する対価ということは理解できるが、そうであれば、議会が開催されない月の報酬が何かを説明できなければならぬ。三六五日の議員活動に対する対価と考えたとしても、なぜ懲罰による出席停止だけが対象なのか。私的理由や刑事事件を起こしての欠席は本条例の対象外である。また、規則改正により、議会全体の公平性は保てるのか。選挙により市民から負託を受けた議員の議決権等の権限と懲罰のバランスがとれているか疑問である。今回の規則改正は、議会内において少数派の議員の

発言や活動が、多数派の政党や会派に抑制されるなど、政治的な思惑で利用されることも考えられ、懲罰の規則を加重することは、議会が本来の役割を果たすための力をそぐことにつながる懸念もあり、民主主義の根幹を揺るがすことにもなりかねない。

懲罰に対する抑止ならば、議会改革として、委員会におけるインターネット中継や委員会議事録の公開など、懲罰に至る経緯の公開等も含め、市民の望む開かれた議会を進める中でも可能であると考える。よって、現段階において、本条例と規則改正には賛成できない。

■伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

■待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書

《反対》日本共産党

この施策及び意見書の背景には保育士不足がある。しかし、保育士資格を持つ潜在保育士は七六万人も

いるという。

なぜ、これほどの潜在保育士がいるのか。その理由を掘り下げていくと、待機児童問題の解決方法で、今一番にやるべきことは、保育士の待遇改善ではないかと考える。

本条例は保育士資格のない職員の配置を可能にするもので、その配置できる人材の認定基準も曖昧である。潜在保育士が多く存在するのに、施設があっても保育士不足だからと無資格者も雇用し、その無資格者に保育士の資格取得を促すということに矛盾を感じる。

〇〇二歳の乳幼児は抵抗力も免疫力も低く、死亡事故も集中している。さらに「三つ子の魂百まで」といわれるように、子供の発達という面からも高い専門性が求められることから、保育の担い手は、保育士資格を持つ者とすべきである。

意見書についても、根本的な改革をせずに、待機児童解消加速化プランを進めても効果が出ないこと、そ

※会派構成議員～佐藤龍彦議員、◎重岡秀子議員 (議席順、◎=会派代表者)

して、今あえて市議会として国に要望するならば、本市と国の将来も見据えて、抜本的な保育士の待遇改善をすることではないかと考える。以上の点から、本条例改正及び意見書に反対する。

会派名の変更

四月一二日、会派「民主党・刷新の会」は会派名を「民進クラブ」に改めました。

全国市議会 議長会 議員表彰

去る五月三十一日、全国市議会議長会定期総会において永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会において、その伝達を行いました。

●二〇年以上勤続

稲葉正仁 議員
鈴木克政 議員

市議会だより 次号以降の発行について

いつも市議会だよりをごらんいただき、ありがとうございます。

次号である市議会だより一七一号の発行は、装いを新たに、一二月一日号として発行する予定です。以降の号も、従来よりも一カ月ずつおくれるの発行予定となります。

市議会の情報を皆様いち早くお届けできないことは大変心苦しいのですが、紙面を少しでも読みやすくするための試行錯誤の過程ということで、ご理解いただければと思います。

なお、本会議の様子につきましては、本会議終了後におおよそ三開庁日後からインターネットにてごらんいただけるようにしております。ぜひ、こちらもご利用ください。

アクセスは、伊東市ホームページ↓市議会↓市議会インターネット中継放送

一 般 質 問

10議員が登壇/市政全般等について質問

(登壇順に掲載)

効率的に情報発信するため
に、本市の観光資源の認知
度、満足度等のアンケート
を行う必要があると考える
が、いかがか



正風改革クラブ
青木 敬博 議員

今、新たな新幹線の開業
などにより、大きな観光地
が同じ土俵に上がってきて
いる。例えば、東京から京
都は新幹線で約二時間一八
分、金沢は約二時間三三分
一方、伊東へはスーパード
ュー踊り子号で一時間四一
分、伊豆高原は約二時間。
時間的な差はなく、料金も
一万円程度の差である。

これら観光地と同じ土俵
で戦うには、客観的におの
れを知ること、つまり、厳
しい目で見ても、本市が勝て
る部分を探し出し、それを
認識することが大事である。
そのために、伊東の食文
化や伊東八景などの認知度、

満足度等を調査する必要が
あると思うが、現在実施し
ている調査では、例えば按
針祭の認知度や満足度の数
値が出ていない。

客観的に本市を知るため
に、より掘り下げた内容の
調査をしてはどうか。

市長

イベントや観光資源の客観
的な評価を得て、新たな観
光戦略が立案できると考え
ているため、研究していく

観光客のニーズは多様化
し、訪日外国人観光客の急
増など、観光を取り巻く環
境が激しく変化する中、本
市の歴史文化そのものがす
ばらしい観光資源であるこ
とを認識し、観光客の動向
やニーズを的確に捉え、状
況を分析していくことは重
要であると考えている。

現在、伊東温泉観光客実
態調査以外にも大手エージ
ェントやコンサルタントな
どから情報を取り寄せ、最
新の動向やニーズなどを分
析しているが、アンケート
は個々の観光資源の客観的

な評価を得て、本市の新た
な観光戦略が企画立案でき
るものと考えているので、
研究していく。
『その他の質問』 四項目



本市が勝てるものを見つける

空家等対策の推進に関する
特別措置法施行後の空き家
対策に関して伺う



自民・絆
稲葉富士憲 議員

本市は、今後人口減少が
続くと予想されている。人
口減少とともに住む場所も
少なくて済み、結果、空き
家が増加している。またさ

まざまな理由により放置さ
れる別荘の事例もみられ、
空き家の増加傾向は人口減
少のペース以上と思われる。
管理の行き届かない空き家
は、防犯面からも防災面か
らも問題があるの言うま
でもない。

この問題を解決すると期
待されている、空家等対策
の推進に関する特別措置法
の現状等について伺う。

また、八幡野下町の中心
部にある旅館は空き家とな
ったまま放置されており、
周辺住民は屋上の給水塔の
倒壊や、クーラーの室外機
の落下を心配している。一
刻も早い解決が望まれてお
り、対応策を伺う。

市長

ガイドライン等の情報を活
用し、近隣住民からの相談
に対応している

同法に基づく対応につい
ては、本年度より相談窓口
を建築住宅課に一本化し、
国のガイドラインや県の連
絡会議での情報を活用して
相談に応じている。今後は



空き家（イメージ）

ほか四項目

『その他の質問』
 ■伊東市南部地区を流れる
 対島川及び八幡野川の治
 水対策について、両河川
 の護岸整備計画の現状と
 今後の展望

空き家対策マニュアルやデ
 ーターベースの整備を進め
 ながら、空き家等対策計画
 などの策定について検討し
 ていく。
 該当の空き家に関しては、
 危険な箇所へのバリエード
 設置や所有者に関する調査
 を進めているが、所有者は
 既に亡くなっており、相続
 人も不明である。今後は、
 把握できた関係者に対して、
 さらなる指導や助言に努め
 ていく。

放課後児童クラブに関し、
 利用料の低所得世帯への負
 担軽減策等、支援の充実に
 向けた取り組みを伺う


 公明党
 篠原峰子議員

平成二七年四月に子ど
 も・子育て支援新制度が施
 行されたことから、放課後
 児童クラブに関し、昨年度
 実施の新たな取り組みと、
 今後の充実策について伺う。
 また、幼稚園や保育園の
 保育料については、本年度
 から低所得者の世帯等に対
 する軽減措置が実施され、
 安心して子育てできる環境
 が整ってきているが、放課
 後児童クラブの利用料につ
 いては、各クラブにより異
 なるものの、低所得世帯に
 とっては負担が大きく、利
 用を断念したことで、仕事
 や子育てに支障を来してい
 る事例もあることから、低
 所得世帯への負担軽減策を

講じる考えがあるか伺う。

市長

利用料の負担軽減について、
 低所得により通えない世帯
 の状況把握等調査を実施し、
 支援策を検討したい

昨年度の新たな取り組み
 は、学校や地域との連携を
 強化することを目的に、放
 課後児童クラブの支援員の
 処遇改善に取り組むととも
 に、積極的な活動に対し支
 援をしており、放課後児童
 クラブに対する助成金額は、
 子ども・子育て支援新制度
 の施行前と比較すると、約
 一二％の増額となっている。
 今年度は、放課後児童ク
 ラブへ他の学区から通う場
 合、送迎を実施するなど、
 放課後児童クラブ同士が連
 携し、児童が安心して過ご
 すことができる居場所づく
 りを目指すとともに、支援
 員処遇改善加算の充実を図
 るなど、各放課後児童クラ
 ブの実情にあわせた支援を
 進めていく。

また、放課後児童クラブ
 の利用料の負担軽減につい

ては、低所得であることを
 理由に、放課後児童クラブ
 に通うことができない世帯
 の状況を把握するなど調査
 を実施し、支援策を検討し
 ていく。

『その他の質問』 二項目



旭キッズクラブ

市史編さん事業における、
 通史の刊行時期を伺うと
 もに、発行形態や発行予定
 部数を伺う


 民進クラブ
 四宮和彦議員

文化政策を考える上で、
 そのまちが歩んできた歴史
 を無視することはできない。
 その点から、現在も行われ

ている市史編さん事業は地
 味ながら、非常に重要な事
 業であると言える。

本編については、平成二
 八年度刊行予定の「史料編
 考古・文化財編」の刊行に
 よって、一応の完了となる
 と思われるが、本編は史料
 が中心で専門性が高く、一
 般市民向けの読み物として
 の内容には必ずしもなつて
 いない。そのため、市史編
 さん事業では、通史の刊行
 をもって、事業の完了とす
 るのが一般的である。

そこで、通史の刊行はい
 つを予定しているか、また、
 それはどのような形式で、
 発行部数はどの程度を予定
 しているのか伺う。

市長

通史編は市民にもわかりや
 すい図書として刊行する予
 定であり、形式や発行部数
 については今後検討してい
 く

市史編さん事業における
 刊行図書の中でも、史料編
 は各時代の史料を忠実に活
 字化したものであることか

ら、理解にはある程度の専門性を要する内容となっている。

このことから、市民の誰もが本市の歩んできた歴史などを知ることができ「通史編」の作成は大事なことで認識しており、先に開催された伊東市史編さん委員会においても、これまで刊行した史料編をもとに新たな事業として進めることが確認されたところである。

また、通史編の形式や発行部数については、今後検討していくこととなるが、市民にとつてもわかりやすい図書として刊行することを考えている。

『その他の質問』 六項目



伊東市史

若い家族に向けた移住定住促進策について伺う



自民・絆
中島弘道議員

二〇一五年度に県外から本市に移住した人は一三人で、県内四番目に多かったようだが、その年代は六〇代が中心とのことであり、少子高齢化の観点からみると、喜んでばかりもいられない状況もある。

伊東市総合戦略の基本目標として、平成三二年までに社会増減数を三〇〇人、移住相談件数の重要業績評価指標を一〇〇件としているが、具体的な施策が見えていないように思われる。本市でも子育て世帯に対しさまざまな経済支援事業を行っているが、転出者を減少させ、さらには、若い夫婦・子供を持つ若い家族が関心を持ち「ずっと住みたい伊東」を実感できるよ

うな魅力ある移住・定住促進策が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

市長

庁内関係課による移住促進連絡会議を設置し、移住者に対する新たな支援策等を検討している

移住定住促進には、就業、住居、子育て・教育、医療・福祉、交流・体験、市民や地域団体等との連携、情報発信など、さまざまな観点から支援を行うことが必要であり、特に若い家族に対しては、就業に加え、住居や子育て支援の充実が求められていると考える。移住定住に必要な施策の調査及び研究を行うため、本年三月に、庁内関係課による「移住促進連絡会議」を設置し、既存制度の対象を移住者に拡充することや、移住者に対する新たな支援策等を、現在、検討しているところであり、今後、サマリーレビューや戦略事業会議等を通じて、さらに事業の精査を進めていく。

『その他の質問』
■観光プロモーション事業の現状について伺う

ほか二項目



ずっと住みたい伊東

伊東市立学校・園の統廃合について伺う



日本共産党
重岡秀子議員

少子化が進み、児童数が減少している現状に鑑みると、学校・園の統廃合はやむを得ないことであるが、統廃合は、広くまちづくりともかわってくることも

ら、伊東市立学校・園の統廃合に関し、以下二点伺う。
一 伊東市立学校・園適正規模及び配置検討委員会の目的や検討課題を伺う。

二 統廃合は、子供の成長や地域の文化、歴史等にかかわることから、市民を巻き込んだ議論が必要であると考えているが、そのための施策について伺う。

市長

子供を取り巻くあらゆる関係者の参画を得ながら広く意見を伺うことによって、本市として理想とする適正な規模及び配置について検討していただき、平成二九年度中に教育委員会に方向性を示していただく

人口減少社会を迎える中、本市の少子化は今後、加速度的に進むことが予想され、子供たちの教育環境の適正化は避けては通れない課題となっている。

このような状況の中、伊東市立小・中学校並びに保育園及び幼稚園における規模及び配置のあり方を検討



第1回伊東市立学校・園適正規模及び配置検討委員会

『その他の質問』 四項目

するため、「伊東市立学校・園適正規模及び配置検討委員会」を設置し、平成二八年三月に第一回目となる会議を開催したところである。

本委員会は、小・中学校、幼稚園、保育園の教職員やPTA代表、学童保育の利用者、地域住民等、子供を取り巻くあらゆる関係者の参画を得て、子供たちの教育環境の課題や今後のあり方について、広く意見を伺うものである。

今後は、本市として理想とする適正規模及び適正配置について検討していただき、適正化に向けた基本的な方向性を平成二九年度中に、教育委員会に示していただく予定である。

防災情報を得る手段として防災ラジオの必要性を感じるが、本市の考えを伺う



公明党
鳥居康子 議員

同報無線、市ホームページ、FMいとうなどの市から発信された防災情報をどのように得るかは、地震・風水害・土砂災害等の災害の種類や、発生時間帯及び被災場所等により違うことが想定される。

防災行政無線が聞き取りにくい難聴地域問題の解消等のために、建物の密集地や山間部でも出力が大きく電波が届きやすい周波数帯を活用した防災ラジオを整備している自治体がある。電源を切っている状態でも防災行政無線や緊急情報が発信された場合には自動的に起動し、さらには、AM・FMラジオを聞いている最中でも、自動的に緊急

放送に切りかわる機能を持つなど、防災ラジオは災害時に重要な情報発信手段となると思われる。

そこで、本市も防災ラジオの整備が必要と考えるが、本市の考えを伺う。

市長

全国瞬時警報システムが発信された際に自動的に電源が立ち上がる「FM緊急告知ラジオ」の導入について検討していく

本市において防災情報伝達手段として、同報無線を初め、コミュニティFM、メールマガジン、ケーブルテレビのL字テロップ、携帯電話各社による緊急速報メールを活用し、防災情報を発信している。

防災ラジオについては、コミュニティFMの電波を利用し、市の防災情報の受信以外にも、全国瞬時警報システム「Jアラート」や「緊急地震速報」等が発信された際に自動的に電源が立ち上がる「FM緊急告知ラジオ」の導入について検

討していく。

『その他の質問』

■伊東市一般廃棄物処理基本計画について伺う

ほか三項目



以前本市で販売した防災用ラジオ

移住促進の観点から、住宅リフォーム振興助成制度の要件緩和について伺う



日本共産党
佐藤龍彦 議員

近年、中古物件を購入し、伊東へ移住する人がふえているという話を聞く。そういった購入者の中には、すぐに住居をリフォーム

ムしたい方もいると思われるが、本市に住民登録があること、継続して一年以上居住していること、という要件がある本助成制度は、伊東へ転入されたばかりの方は、すぐには利用することができない。

もし、本助成制度のこの要件が緩和され、転入と同時に利用が可能になれば、伊東への移住を考えている方への宣伝材料になると考える。

また、制度の利用がふえ、市内建築関連業界の活性化につながるのと同時に、リフォームを機会に移住者と施工業者の間に縁が生まれ、その後の仕事おこしにもつながるのではないかと。

以上のことから、今後、住宅リフォーム振興助成制度の要件を緩和していく考えはないか伺う。

市長

制度の要件の緩和について、関係団体と協議の上、今後検討していく

当該助成制度については、



浴室リフォーム

市民の皆様の貴重な税金を財源としていることから、本市への住民税納税義務が発生する、「本市に住民登録があり、継続して現に一年以上居住している方」を助成対象としている。

しかし、本市に移住する方が転入と同時に本助成制度を受けることが可能になれば、移住の促進に効果があると考えられ、また市内建築関連業界の活性化につながる可能性もあることから、今後、商工会議所と協議する中で検討していく。

『その他の質問』

■二学期から始まる学校給食センターについて

ほか六項目

ゆずりあい駐車場制度について、本市の取り組み状況を伺う



公明党
長 沢 正 議員

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律により一定規模以上の施設の新設の際には、車椅子で利用できる幅の広い障がい者等用駐車スペースの設置が義務づけられている。当該駐車スペースに障がいのない人が駐車し、障がい者、高齢者、妊産婦、けが人等の円滑な利用が阻害されている実態や内部障害などの異なる障害を考慮した場合、当該駐車スペースが必ずしも質・量において十分に利用しやすいものとなっていない実態がある。

平成二三年に国土交通省が取りまとめた報告書「障害者等用駐車スペースの適正利用等の促進に関する調

査研究」では、当該駐車スペースの利用に係る利用対象者のニーズや課題、ハード面、ソフト面の具体的な取り組み方策の効果や課題を明らかにして、有効な施策を検討する必要性について報告されている。

このような状況を踏まえ、平成二三年に県がスタートした取り組みで、対象者に利用証を配付し、また、施設等に案内表示をすることにより適正利用を促進する、いわゆる「ゆずりあい駐車場制度」について、本市の取り組み状況を伺う。

市 長

民間事業所の協力のもと設置数をふやすとともに、利用者及び市民への周知を図る

本市では六二七人が利用証を所持しており、公共施設九カ所、民間施設二一カ所、計三〇カ所、三八台分を駐車場に設置している。

今後とも、民間事業所の協力などにより引き続き設置数をふやすとともに、制

度利用と制度に対する理解をさらに進めるために、改めて利用者及び市民への周知に努める。

『その他の質問』 三項目



ゆずりあい駐車場
(市役所駐車場内)

中学校における運動部活動と民間スポーツクラブとの連携について考えを伺う



杉本一彦議員
(会派に所属していない)

部活動は学校教育の一環として、学校生活に豊かさをもたらす、非常に意義のある重要な活動であることは間違いない。

しかし、近年では生徒数の減少に伴い、生徒が希望する運動部が各校では維持できない、あるいは、通っている学校に存在しないといった状況が起きており、こうした傾向は今後ますます進んでいくと予想される。また、部活動の発展には、マンパワーとして教員の存在が大きな役割を果たしているが、その責任や負担は大きいというのもよくわかる気がする。

本市でも、その年の状況によっては、複数校による合同の活動が行われていた例もあり、複数校による合同チーム等の学校体育大会への参加を求める声も多くなってきたようである。

運動部活動をめぐる環境が大きく変化する中、地域のクラブチーム等との連携を深めることで、本市の子供たちが本心にやりたい競技に参加できると考え、民間スポーツクラブとの連携について、どのように考えているか伺う。



運動部活動（イメージ）

『その他の質問』 七項目

今後については、少子化に伴い、中学校における部活動の場の減少が考えられることから、生徒の活動の場として、民間のスポーツクラブ等との連携についても進めていく。

中学校で部活動に所属せず、民間のスポーツクラブ等に所属し、活動している生徒は一定数おり、学校は活動の状況を踏まえて、部活動とみなしていることから、学校と民間スポーツクラブとの間で本人の活動の様子や実績等の情報交換も実施している。

生徒の活動の場として、民間のスポーツクラブ等との連携についても進めていく

市長

平成28年4月20日臨時会

臨時会を4月20日に開会しました。

■市議会臨時会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部改正に伴う条例改正について平成28年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部改正に伴う条例改正について平成28年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法施行令の一部改正に伴う条例改正について平成28年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
発選第1号	駿東伊豆消防組合議会議員選挙	駿東伊豆消防組合議会議員定数18人のうち、伊東市の定数3人を選出する選挙 投票の結果、有効投票数20票のうち、稲葉富士憲議員6票、長沢正議員6票、鈴木克政議員5票、山口嘉昭議員3票で稲葉富士憲議員、長沢正議員、鈴木克政議員の3人が当選	—	—

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、8月下旬発行予定の6月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問

平成29年から、健康の自己管理に取り組む個人を対象としたスイッチOTC薬控除が適用されるが、税収減が見込まれることから、当局の見解を伺う。

答

税収減について思案する点もあるが、国全体の医療費及び税のあり方を見据えた政策であることから、具体的な方策が示された際には、市民の制度理解のために積極的に周知啓発を図っていく。

※スイッチOTC薬：医療用から市販用に切り替えた薬

問

消費者教育推進事業の事業内容を伺う。

答

食育による「もったいない」という意識の涵養や食品ロスの削減、また、地産地消の推進のための事業として、料理レシピの開発、料理教室の開催、また、パンフレットの作成やシンポジウムの開催等を計画している。



学校における食育

観光建設委員会

問

一般会計補正予算に関し、第70回按針祭記念事業について伺う。

答

70回の節目の年を迎えるに当たり、記念事業の周知強化を図るため、按針祭に特化したポスターやチラシを作成する。

また、夜のパレード実施に当たり、手で持つちょうちんを製作、販売し、皆が同じものを持つことで、一体感を醸成する。

ちょうちんのデザインは、7月からテレビ放送される、伊東が舞台のアニメ「あまんちゅ!」とコラボレーションし、そのキャラクターを使用する。



第70回按針祭はアニメ「あまんちゅ!」とコラボ

問

商店街共同施設設置事業の事業内容を伺う。

答

中央商店会において、防犯カメラ6台の設置及び照明42基のLED化に補助する。

福祉文教委員会

問

今回の条例改正に基づく緩和措置のもと、小規模保育事業所A型が新規に開設を検討する際の市の対応について伺う。

答

就労しながら保育士資格取得を目指すこと、保育士の補助を一年以上経験している経験者を雇用すること、県が実施している子育て支援員研修を受講すること等、保育の質を高めるよう働きかけながら、積極的に相談に乗っていく。また、問い合わせがあった時には適切な指導、協議にも努めたい。

問

建設中の健康福祉センターに関し、市民以外の利用について伺う。

答

市民以外が利用する際には、市民の利用を優先する趣旨から、市民と市民以外で施設の使用料に差異をつける。



健康福祉センター
完成イメージ

議会を傍聴してみませんか？

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょう。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができますので、希望される方は、議会事務局（市役所低層棟三階）まで気軽にお越しください。

9月定例会の予定

8月31日(水)開会

※日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

閉会中の議会活動

平成28年

※平成28年3月定例会閉会後
平成28年6月定例会開会まで（4月20日臨時会を除く）

4月 5日	議会報編集委員会
14日	議会運営委員会
26日	常任観光建設委員会協議会
27日	常任福祉文教委員会協議会
5月 9日	議会報編集委員会
12日	常任総務委員会協議会
〃	議会運営委員会
23日	議会運営委員会
6月 9日	議会運営委員会

市議会では、市民の皆様により市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。

主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ◎市議会の仕組み | ◎市議会図書室のご利用案内 |
| ◎市議会の構成 | ◎市議会の情報公開請求 |
| ◎市政の概要（全編版・抜粋版） | ◎伊東市議会会議録検索システム |
| ◎議会閉会中の活動状況 | ◎市議会インターネット中継放送 |
| ◎議長・副議長日程表 | ◎正副議長のごあいさつ |
| ◎行政視察 | ◎第18期伊東市議会議員名簿 |
| ◎いとう市議会だより | ◎歴代議長・副議長一覧 |
| ◎請願・陳情、決議・意見書とは？ | ◎定例会・臨時会 |
| ◎市議会の傍聴を！ | |

伊東市議会
ホームページのご案内



伊東市議会

検索

編集後記

八月一〇日は按針祭、九月一日は防災の日です。

三浦按針ゆかりの市でつくるANJIINサミットは、四月一六日に大分県臼杵市で開催予定でしたが、地震の発生で中止となってから三カ月が経過しました。

本市では、職員を熊本県嘉島町に応援派遣しました。現地ですでに経験やノウハウは、今後本市の防災対策に生かされることでしょう。

皆様におかれましては、ご家庭で防災対策を再確認いただければと思います。

議会報編集委員会

（委員長）

委員長 四宮和彦
副委員長 中島弘道
委員 青木敬博
〃 篠原峰子
〃 佐藤龍彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六